



## 平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年2月3日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 昭文社

コード番号 9475 URL <http://www.mapple.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 黒田 茂夫

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 経営管理本部長 (氏名) 大野 真哉

TEL 03-3556-8171

四半期報告書提出予定日 平成24年2月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	11,025	3.2	940	△24.5	940	△25.7	764	△27.3
23年3月期第3四半期	10,684	0.1	1,244	96.6	1,265	97.1	1,051	133.7

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 668百万円 (△38.8%) 23年3月期第3四半期 1,091百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	45.98	—
23年3月期第3四半期	63.25	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年3月期第3四半期	32,954	28,813	87.4	1,732.71
23年3月期	33,555	28,477	84.9	1,712.53

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 28,813百万円 23年3月期 28,477百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	20.00	20.00
24年3月期	—	0.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	15,370	0.6	880	△48.1	840	△51.1	820	△19.7	49.31

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期3Q	17,307,750 株	23年3月期	17,307,750 株
24年3月期3Q	678,764 株	23年3月期	678,764 株
24年3月期3Q	16,628,986 株	23年3月期3Q	16,629,184 株

#### ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3~4ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表等	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報等	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
(7) 重要な後発事象	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間(平成23年4月1日～平成23年12月31日)における我国の経済は、東日本大震災からの復旧により景気は回復基調で推移したものの、欧州経済の金融不安や円高の影響も大きく、またアジアをはじめとする新興国における経済成長も鈍化の傾向にあり、依然として不透明な状況が続いております。

このような状況の中、当社グループにおける第3四半期連結累計期間の業績は、出版事業において期首当初は東日本大震災の影響による返品が大量に発生しましたが、その後における新刊や改訂版の積極展開もあり前年を上回る売上を獲得することができました。また電子事業においては、引き続き簡易型カーナビゲーション(PND)向けアプリケーションソフト『マップルナビ』の売上がPND市場の拡大に伴い順調に増加いたしました。これにより売上高合計は前年同期に比べ3.2%増加し、110億25百万円となりました。また損益面におきましては、出版事業における返品増加による影響に加え、新刊商品出版に伴う原価増加や電子事業における新サービス提供のための研究開発費や各種プロモーション費用の増加もあり、営業利益は前年同期に比べ3億4百万円(24.5%)減少し、9億40百万円となりました。それに伴い経常利益は、9億40百万円(前年同期比3億25百万円、25.7%の減少)となっております。四半期純利益は、特別損失として東日本大震災における義援金30百万円や固定資産売却損19百万円を計上したことに加え、法人税率改定に伴う繰延税金資産の取り崩し、退職給付会計における前払保険料相当分の繰延税金負債の計上により法人税等調整額が1億8百万円となったことにより、7億64百万円(前年同期比2億87百万円、27.3%の減少)となりました。

#### [セグメント別の状況]

##### (電子事業)

電子事業におきましては、引き続きカーナビゲーション市場におけるPNDの販売が好調に拡大したことに伴い、ナビゲーション事業におけるPND向けアプリケーションソフト『マップルナビ』の売上が大幅に増加いたしました。またスマートフォン用アプリも従来の『ことりっぷアプリ』『マップルガイドナビ』『GOLFな日』『震災時帰宅支援マップ首都圏版』『東日本大震災復興支援地図』に加え、京都での散歩コースを紹介するアプリ『京都はんなり寺巡り』の提供も開始いたしました。一方で、前期にあった地図データ提供の大型案件といった特殊要因がなくなったこともありますが電子事業の売上高は、前年同期に比べ1億11百万円増加し、35億34百万円となりました(前年同期比3.3%増)。損益面におきましては、今期の当社グループの最優先課題でもあるスマートフォン向けアプリの開発やコンテンツ制作費用の負担が増加したものの、メンテナンス費用の計上が一部第4四半期会計期間にずれ込んだことに加え、『マップルナビ』の売上増加による増益要因が大きく寄与し、電子事業におけるセグメント利益は、前年同期と比べ1億31百万円(23.8%)増加し、6億85百万円となりました。

##### (出版事業)

出版事業におきましては、東日本大震災に伴う返品増加や広告売上の減収等がありましたが、ゴールデンウィーク以降の書店店頭での売上が堅調に推移したことに加え、好調な販売を続ける『工場見学』や『グルメガイド』『ぶらっと散歩コース』等の新シリーズにおけるラインナップの強化や旅&街歩き情報誌『ことりっぷ iforte (アイフォルテ)』7点の新刊出

版により売上は大きく伸びました。しかし一方で、書店店頭へ積極展開した商品の返品や想定以上の市場在庫の返品もあり、出版事業の売上高は75億56百万円と、前年同期に比べ2億23百万円(3.1%)の増加となりました。損益面におきましては、震災影響や市場在庫増加に伴う返品増加に加え、新刊商品出版に伴う原価率の高騰による売上原価の増加、また新刊商品のプロモーション費用の増加もあり、出版事業におけるセグメント利益は減少する結果となり、前年同期に比べ3億3百万円(20.1%)減少の12億10百万円となりました。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期会計期間末における総資産は、329億54百万円となり、前連結会計年度末に比べ6億円(1.8%)減少いたしました。この主な要因は、現金及び預金が8億3百万円、仕掛品が1億47百万円増加した一方で、受取手形及び売掛金が2億17百万円、商品及び製品が6億39百万円、データベースが4億19百万円、投資有価証券が1億4百万円減少したこととあります。負債合計は、41億41百万円となり、前連結会計年度末に比べ9億36百万円(18.4%)減少いたしました。この主な要因は、支払手形及び買掛金が2億51百万円、返品調整引当金が2億44百万円、退職給付引当金が2億2百万円、賞与引当金が1億88百万円、長期借入金が1億16百万円減少したこととあります。純資産においては、その他有価証券評価差額金が95百万円減少した一方で、利益剰余金が剰余金の配当があったものの四半期純利益により4億31百万円増加したことにより、純資産合計は3億35百万円(1.2%)増加し、288億13百万円となりました。

この結果、自己資本比率は87.4%と2.5ポイント改善しております。

### (キャッシュ・フローの状況)

当第3四半期連結累計期間における連結ベースの現金及び現金同等物の残高は、86億78百万円となり、前連結会計年度末と比較して8億4百万円の増加となりました。

「営業活動によるキャッシュ・フロー」は、15億24百万円の収入となりました。その主な要因は、税金等調整前四半期純利益が8億90百万円であったことに加え、仕入債務の減少額が2億51百万円、返品調整引当金の減少額が2億44百万円、退職給付引当金の減少額が2億2百万円、賞与引当金の減少額が1億88百万円あった一方で、減価償却費及びその他の償却費が9億46百万円、たな卸資産の減少額が4億97百万円、売上債権の減少額が2億17百万円あったこととあります。

「投資活動によるキャッシュ・フロー」は、2億99百万円の支出となりました。その主な要因は、無形固定資産の取得による支出が3億37百万円あったこととあります。

「財務活動によるキャッシュ・フロー」は、4億20百万円の支出となりました。その主な要因は、配当金の支払額が3億32百万円あったことに加え、長期借入金の返済による支出が1億72百万円あったこととあります。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間における業績につきましては、上記記載のように前年同期に比べ売上高は増加したものの、利益ベースでは下回る結果となっております。一方で10月28日修正発表の業績予想に対しましては、売上高は順調に推移するとともに、利益面では想定を上回る利益を獲得しております。しかし今後の第4四半期会計期間の業績を考慮するに、上記増益原因として記載のように、メンテナンスコスト発生の遅れやブランド戦略に基づく

プロモーション費用の計上が第4四半期会計期間に発生することに加え、国内ガイドブックシリーズの改訂版出版や春先の旅行需要に向けたマガジンの年度改訂版の大量出版に伴う市場在庫の返品増加の懸念も大きなリスクとして存在しております。また、電子事業における事業環境の悪化による厳しい受注状況等もあり、このような要因を考慮した結果、現在発表している通期の業績見通しにつきましては変更していません。

なお、業績の見通しにつきましては、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいておりますが、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。その要因の一部である当社の事業におけるリスクにつきましては、平成23年6月29日提出の当社の「第52期有価証券報告書（平成22年4月1日～平成23年3月31日）」に記載されておりますので、ご参照ください。

## 2. サマリー情報（その他）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,852,229	7,655,623
受取手形及び売掛金	4,050,063	3,832,446
有価証券	1,022,646	1,023,323
商品及び製品	1,873,721	1,233,728
仕掛品	619,064	766,557
原材料及び貯蔵品	8,656	3,229
繰延税金資産	532,807	502,654
その他	143,351	163,106
貸倒引当金	△3,655	△4,431
流動資産合計	15,098,884	15,176,239
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,085,618	2,961,564
土地	6,246,850	6,182,274
その他（純額）	253,780	230,860
有形固定資産合計	9,586,249	9,374,699
無形固定資産		
データベース	5,499,405	5,080,247
のれん	314,588	280,882
その他	795,317	831,070
無形固定資産合計	6,609,310	6,192,200
投資その他の資産		
投資有価証券	1,332,092	1,227,306
その他	1,314,900	1,382,607
貸倒引当金	△385,867	△398,213
投資その他の資産合計	2,261,126	2,211,700
固定資産合計	18,456,686	17,778,600
資産合計	33,555,570	32,954,839

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	949,775	698,674
短期借入金	986,033	1,070,030
1年内返済予定の長期借入金	222,364	166,320
未払法人税等	60,499	32,395
賞与引当金	371,174	182,545
返品調整引当金	807,164	563,060
受注損失引当金	371	—
災害損失引当金	99,200	87,691
その他	803,173	849,822
流動負債合計	4,299,755	3,650,539
固定負債		
長期借入金	188,542	72,252
繰延税金負債	106,112	167,183
退職給付引当金	312,487	110,450
役員退職慰労引当金	113,600	140,400
その他	57,497	750
固定負債合計	778,240	491,036
負債合計	5,077,996	4,141,576
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,903,870	9,903,870
資本剰余金	10,708,236	10,708,236
利益剰余金	8,234,432	8,666,395
自己株式	△524,661	△524,661
株主資本合計	28,321,876	28,753,839
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	149,165	53,247
為替換算調整勘定	6,532	6,176
その他の包括利益累計額合計	155,697	59,424
純資産合計	28,477,574	28,813,263
負債純資産合計	33,555,570	32,954,839

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
売上高	10,684,507	11,025,557
売上原価	6,649,844	7,157,725
売上総利益	4,034,663	3,867,832
返品調整引当金繰入差額	△205,699	△244,104
差引売上総利益	4,240,362	4,111,936
販売費及び一般管理費	2,995,862	3,171,849
営業利益	1,244,500	940,087
営業外収益		
受取利息	4,231	3,062
受取配当金	21,302	22,683
受取賃貸料	15,712	14,335
保険配当金	4,028	3,920
投資有価証券割当益	12,720	—
その他	11,266	8,423
営業外収益合計	69,262	52,424
営業外費用		
支払利息	15,306	13,765
賃貸収入原価	27,906	24,552
持分法による投資損失	3,835	523
貸倒引当金繰入額	—	13,004
その他	1,402	525
営業外費用合計	48,451	52,370
経常利益	1,265,310	940,141
特別利益		
固定資産売却益	12,403	5,021
貸倒引当金戻入額	4,592	—
特別利益合計	16,995	5,021
特別損失		
固定資産売却損	892	19,909
固定資産除却損	4,643	1,232
投資有価証券評価損	198,418	—
会員権評価損	750	—
災害による損失	—	33,701
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	1,916	—
特別損失合計	206,620	54,843
税金等調整前四半期純利益	1,075,686	890,319
法人税、住民税及び事業税	17,273	17,544
法人税等調整額	6,644	108,231
法人税等合計	23,917	125,776
少数株主損益調整前四半期純利益	1,051,768	764,542
四半期純利益	1,051,768	764,542

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,051,768	764,542
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	41,308	△95,917
為替換算調整勘定	△1,523	△356
その他の包括利益合計	39,785	△96,273
四半期包括利益	1,091,554	668,269
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,091,554	668,269
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,075,686	890,319
減価償却費及びその他の償却費	880,952	946,679
有価証券及び投資有価証券評価損益(△は益)	198,418	—
持分法による投資損益(△は益)	3,835	523
会員権評価損	750	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△5,229	13,122
賞与引当金の増減額(△は減少)	△192,263	△188,628
返品調整引当金の増減額(△は減少)	△205,699	△244,104
受注損失引当金の増減額(△は減少)	504	△371
災害損失引当金の増減額(△は減少)	—	△11,508
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△286,872	△202,037
受取利息及び受取配当金	△25,534	△25,745
受取賃貸料	△15,712	△14,335
支払利息	15,306	13,765
売上債権の増減額(△は増加)	710,799	217,616
たな卸資産の増減額(△は増加)	123,457	497,926
仕入債務の増減額(△は減少)	△469,988	△251,101
その他	△222,900	△109,959
小計	1,585,510	1,532,161
利息及び配当金の受取額	25,724	25,914
賃貸料の受取額	15,603	13,470
利息の支払額	△15,254	△13,799
法人税等の支払額	△26,225	△33,448
法人税等の還付額	11,337	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,596,694	1,524,299
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△60,607	△71,866
有形固定資産の売却による収入	8,145	68,229
無形固定資産の取得による支出	△583,633	△337,741
投資有価証券の取得による支出	△3,419	△8,139
貸付金の回収による収入	50,638	50,199
投資活動によるキャッシュ・フロー	△588,876	△299,318
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	75,100	83,997
長期借入金の返済による支出	△198,189	△172,334
自己株式の取得による支出	△196	—
配当金の支払額	△331,323	△332,571
財務活動によるキャッシュ・フロー	△454,609	△420,908
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	553,208	804,071
現金及び現金同等物の期首残高	6,966,335	7,874,875
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,519,544	8,678,947

(4) 継続企業の前提に関する注記  
該当事項はありません。

(5) セグメント情報等  
(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	出版事業	電子事業	合計
売上高			
外部顧客への売上高	7,322,216	3,362,291	10,684,507
セグメント間の内部売上高 又は振替高	10,107	60,993	71,100
計	7,332,323	3,423,285	10,755,608
セグメント利益	1,514,028	553,499	2,067,527

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の  
主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	2,067,527
セグメント間取引消去	31,921
のれんの償却額	△44,555
全社費用(注)	△810,393
四半期連結損益計算書の営業利益	1,244,500

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	出版事業	電子事業	合計
売上高			
外部顧客への売上高	7,555,979	3,469,578	11,025,557
セグメント間の内部売上高 又は振替高	134	65,019	65,153
計	7,556,113	3,534,597	11,090,711
セグメント利益	1,210,176	685,351	1,895,527

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の  
主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,895,527
セグメント間取引消去	43,212
のれんの償却額	△33,705
全社費用(注)	△964,947
四半期連結損益計算書の営業利益	940,087

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記  
該当事項はありません。

(7) 重要な後発事象  
該当事項はありません。